

平成24年度
和歌山市行政評価報告書

和歌山市

目 次

第1章 和歌山市の行政評価	P. 1
1 行政評価の目的	P. 1
2 行政評価の基本的な仕組み	P. 1
第2章 行政評価結果の概要	P. 2
1 事務事業評価対象事業の見直し	P. 2
2 行政評価による今後の事業の方向性	P. 2
一次評価結果構成比	P. 3
二次評価（外部評価含む）結果構成比	P. 3
3 外部評価結果の概要	P. 4
4 分野別目標・政策・施策と事務事業との体系化	P. 5
第3章 今後の取組	P. 7

第1章 和歌山市の行政評価

1 行政評価の目的

和歌山市が取り組んでいる行政評価の目的は、大きく4つに分けられます。

- (1) 市が行っているそれぞれの仕事の目的を明確にし、成果を測定しつつ、より効率的、効果的な改革改善を図り、健全な行政運営を目指していきます。
- (2) 市民の視点に立って仕事を評価することで、市民のニーズや社会情勢の変化に対応した行政サービスを行っていきます。
- (3) 市の行っている仕事を行政評価結果として市民の皆さんに公表して、市政の透明性を高め信頼される行政運営を図ります。
- (4) 職員がそれぞれの仕事の目的・成果や仕事にかかる費用を意識し、課題を解決する能力を身につけ、職員の意識改革を図りながら、市行財政の体質改善を行います。

2 行政評価の基本的な仕組み

(1) 評価の対象

和歌山市の行政活動の構造は、長期総合計画の体系を下にその目的と手段の関係から「分野別目標－政策－施策－事務事業」に整理することができます。このうち、平成24年度においては最小単位である事務事業を対象に評価を行いました。

(2) 評価の体制

ア 庁内における内部評価

一次評価：評価対象の事務事業を所管している担当課において評価を実施

二次評価：担当課における一次評価結果を基に、市の管理部門（一部事業について教育政策課）が合同で、二次評価を実施

イ 外部評価

客観性を担保するため、学識経験者、会社経営者及び公募市民等からなる和歌山市職員以外の第三者で構成された和歌山市行政評価委員会による評価を実施

(3) 評価の視点

次の視点を基本として評価を行いました。

目的妥当性：市の関与は妥当であるか、民間で行うべきではないか、また事業の目的である対象や意図を変更することで費用対効果が向上しないか、上位の政策体系に貢献しているかなどについてチェックを行う。

有効性：事業の成果は十分か、努力を行っているか、向上の余地はないか。また、類似の事業が存在する場合には再編成することで成果を向上出来ないか、についてのチェックを行う。

効率性：現状の成果を下げることなく、コストを削減できないか、努力しているか。また、受益者負担の適正化の余地は無いか、についてチェックを行う。

第2章 行政評価結果の概要

1 事務事業評価対象事業の見直し

平成21年度からスタートした「第4次和歌山市長期総合計画」に基づき事務事業を整理・統合し、これまで、全ての事務事業（約800事業）を評価対象としてきたところですが、平成24年度は、行政評価のより効率的で効果的な運用を目指し、次のとおり見直しを行いました。

1 評価対象事業の絞り込みを実施

全事務事業（約800）から、①平成23年度外部評価対象施策内の事務事業、②行財政改革取組項目該当事業、③市の裁量が全くない法定受託事務（許認可、交付事務等）、④終了・廃止・休止という方向性が出ている事業等を除き、約600事業に評価対象を絞り込みました。

2 評価対象事業を3年に分割して評価

行政評価に対する「選択と集中」を行うにあたり、評価対象とする約600事業を3分割し、平成24年度・平成25年度・平成26年度で、それぞれ対象となった事務事業のみを評価することとしました。各年度の評価対象事業は、施策毎のまとまりで分割しており、各年度で約200事業を評価していきます。具体的な評価の流れは、一次評価（担当課評価）を実施した事業（約200事業）を、外部評価（約40事業）と二次評価（約160事業）に振り分けて、それぞれ評価していくというものです。

なお、平成24年度は820事業の内、204事業を評価対象としています。

3 評価対象外事業は「事業進捗管理シート」を作成

上記の「評価対象事業の絞り込み」において評価対象外となった事業及び、評価対象事業の内各年度で評価対象となっていない事業については、「事業コスト管理」、「事業の進捗管理」のみを行う「事業進捗管理シート（評価シートの表面のみ）」を作成しています。

なお、「事業進捗管理シート」は長期総合計画の進捗管理等への活用を図るとともに、評価対象年度への準備（評価対象事業のみ）のために作成するものです。

2 行政評価による今後の事業の方向性

行政評価（一次評価、二次評価、外部評価）結果

	A	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C	D	E	計
一次評価	169	28	2	0	1	0	0	3	0	0	1	204
二次評価 及び 外部評価	100	3	60	5	1	2	7	24	1	0	1	204

A : 計画どおり事業を進めることが妥当

B2 : コスト削減・成果上昇

B4 : 外部委託導入・拡大

B6 : 終期設定

C : 終了

E : 廃止

B1 : 事業の充実に向けた見直し

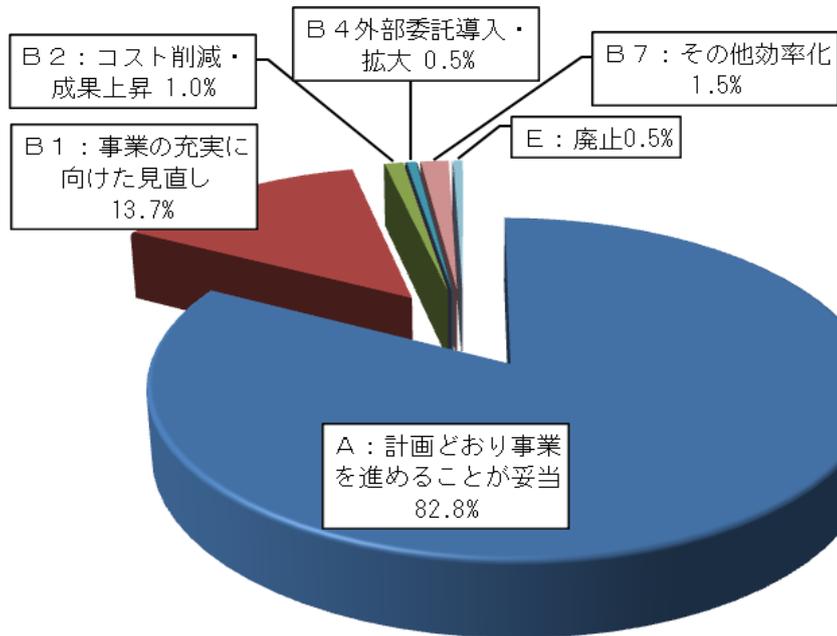
B3 : 類似事業との統合

B5 : 受益者負担の適正化

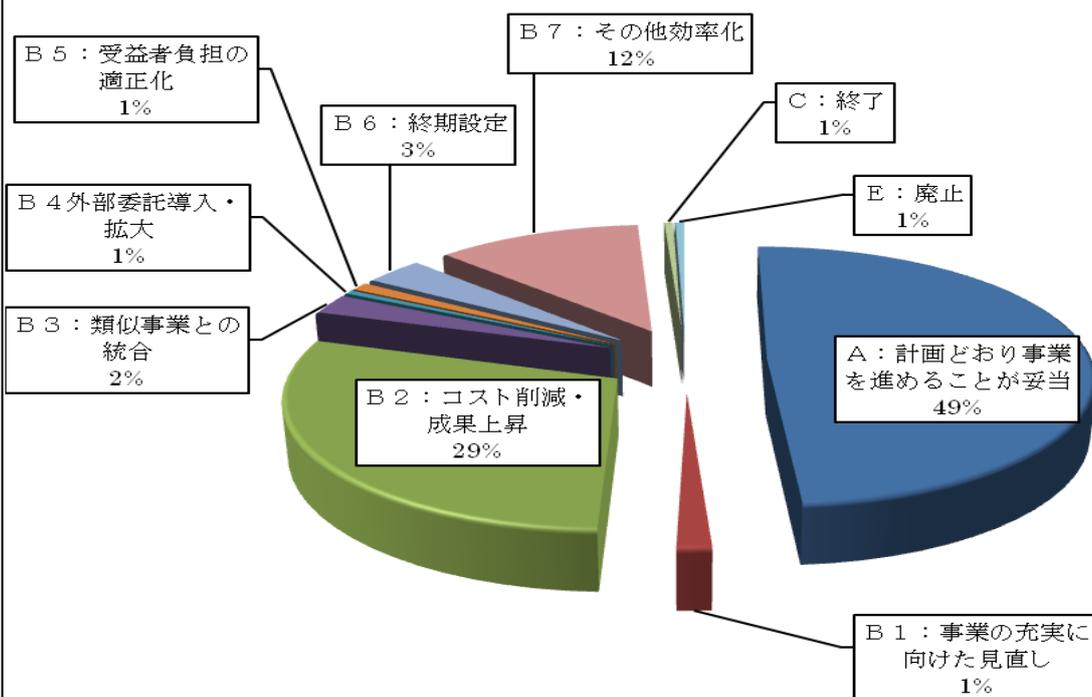
B7 : その他効率化

D : 休止

一次評価結果構成比



二次評価（外部評価含む）結果構成比



3 外部評価結果の概要

平成24年度の外部評価の概要は以下のとおりです。

(外部評価結果の詳細については、「平成24年度和歌山市行政評価委員会意見書」を参照してください。)

① (公開・非公開全体)

事業の方向性	外部評価	担当課評価
A 事業内容の拡充	2 事業	2 事業
B 計画どおり事業を進めることが妥当	11 事業	35 事業
C 事業手法の効率化	9 事業	1 事業
D 成果引上げに向けた改善	19 事業	7 事業
E 事業内容の縮小	3 事業	0 事業
F 廃止・終了	1 事業	0 事業
	45 事業	45 事業

② (公開)

事業の方向性	外部評価	担当課評価
A 事業内容の拡充	1 事業	1 事業
B 計画どおり事業を進めることが妥当	1 事業	5 事業
C 事業手法の効率化	2 事業	0 事業
D 成果引上げに向けた改善	5 事業	4 事業
E 事業内容の縮小	1 事業	0 事業
F 廃止・終了	0 事業	0 事業
	10 事業	10 事業

分野別目標・政策・施策と事務事業との体系化

分野別目標	政策	施策名	事務事業数	事業費	人件費	
1安心して、安全に暮らせるまち	1総合防災対策の充実	1災害に強いまちづくりの推進	15	3,701,494千円	498,181千円	
		2災害に強い人づくりの推進	5	21,714千円	23,677千円	
		3災害等に強い体制づくりの推進	10	49,445千円	63,932千円	
	2消防・救急救助体制の充実	1予防体制の充実	10	28,704千円	136,240千円	
		2消防力の充実	12	579,665千円	236,375千円	
		3救急・救助体制の充実	3	13,986千円	33,508千円	
	3地域安全の推進	1交通安全対策の推進	4	372,851千円	98,241千円	
		2防犯対策の推進	5	36,245千円	24,359千円	
	4消費生活の向上	1消費生活の向上	2	990千円	6,654千円	
	2個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち	1地域福祉と健康づくりの推進	1地域福祉の推進	16	324,099千円	105,409千円
2健康づくりの推進			32	727,953千円	353,019千円	
3地域医療・健康危機管理体制の充実			13	448,278千円	114,263千円	
4生活衛生対策の推進			29	280,562千円	267,174千円	
5保健医療対策の推進			22	1,219,658千円	231,782千円	
2高齢者・障害者支援の充実		1高齢者の生活の充実	50	2,579,441千円	97,301千円	
		2障害のある人の自立と社会参加の推進	45	7,066,736千円	237,500千円	
3子育て支援の充実		1子育て支援の充実	42	15,688,831千円	464,420千円	
4社会保障制度の充実		1社会保障制度の充実	32	75,355,697千円	1,340,969千円	
5人権尊重社会の実現		1人権が尊重される社会づくり	10	141,326千円	394,407千円	
		2男女共生社会の実現	7	35,962千円	46,519千円	
3市民と地域がつくる元気なまち		1地域産業の振興	1企業が成長できる環境づくり	5	3,444,832千円	51,852千円
	2商工業の振興		11	936,055千円	143,968千円	
	3農林業の振興		21	411,475千円	229,486千円	
	4水産業の振興		7	86,241千円	36,068千円	
	5雇用の安定と労働環境の向上		9	145,303千円	32,784千円	
	2中心市街地の活性化	1中心市街地の活性化	4	84,115千円	27,898千円	
	3観光の振興	1観光客受入体制の整備	9	251,529千円	132,731千円	
		2観光客の誘致	9	102,490千円	75,603千円	
	4国内外交流の推進	1国内外交流の推進	8	20,393千円	30,652千円	
	5地域コミュニティの充実	1地域コミュニティの充実	7	141,488千円	69,461千円	
	4自然環境と都市基盤が調和した快適なまち	1道路網の整備	1基幹道路網の整備	10	1,816,030千円	208,084千円
			2生活道路の整備	12	1,034,110千円	309,607千円
		2公共交通体系の充実	1公共交通機関の機能強化	7	528,432千円	34,998千円
2空港・港湾機能の充実			3	4,152千円	8,954千円	
3住環境の整備		1居住環境の整備	8	914,956千円	226,916千円	
		2河川・水路の整備	2	114,827千円	36,213千円	
		3上水道の整備	-	-	-	
		4生活排水対策の推進	23	5,311,756千円	564,038千円	
4自然環境・資源循環型社会の形成		1生活環境の保全	12	305,112千円	80,875千円	
		2自然環境の保全と創造	4	20,447千円	17,515千円	
		3地球環境の保全	5	74,596千円	30,241千円	
		4循環型社会の形成	22	2,067,850千円	2,268,860千円	
5適正な土地利用の推進		1適正な土地利用の推進	6	144,584千円	214,497千円	
		2良好な市街地の形成	5	137,297千円	67,427千円	
6都市景観の形成		1都市緑化・都市美化の推進	9	239,540千円	95,867千円	
		2都市景観の形成	3	35,493千円	50,030千円	

分野別目標・政策・施策と事務事業との体系化

分野別目標	政策	施策名	事務事業数	事業費	人件費
5子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1学校教育の充実	1学校の教育力の充実	13	224,981千円	55,825千円
		2幼児教育の充実	6	313,039千円	14,683千円
		3小・中学校教育の充実	29	1,378,247千円	316,331千円
		4特別支援教育の充実	9	10,583千円	61,907千円
		5健康教育の充実	17	794,178千円	67,989千円
		6高校教育・高等教育の充実	8	60,663千円	31,984千円
	2青少年の健全育成	1青少年の健全育成	14	352,460千円	173,375千円
	3生涯学習の推進	1生涯学習の推進	24	573,254千円	206,993千円
	4文化・スポーツの振興	1文化遺産の保護・継承	21	163,004千円	79,251千円
		2芸術・文化の振興	15	256,532千円	29,299千円
		3生涯スポーツの振興	16	704,356千円	106,802千円
	6基本計画の推進	1市民参加によるまちづくりの推進	1市民の声を広く聴く機会の充実	1	2,359千円
2市民への説明責任の充実			4	95,752千円	75,930千円
3市民との協働の推進			-	-	-
2行政サービスの向上		1気くばり市役所の推進	6	724,223千円	191,257千円
		2情報通信技術を活用した利便性向上の推進	5	70,796千円	229,938千円
3効果的・効率的な市政の推進		1職員の意識改革と人材育成の推進	5	39,592千円	31,451千円
		2少数精鋭の組織づくり	-	-	-
		3業務の効率化の推進	7	47,149千円	155,085千円
		4経営感覚を取り入れた行政運営の推進	3	12,694千円	43,340千円
		5電子市役所の構築	3	415,073千円	108,720千円
4財政健全化の推進		1持続可能な財政構造の確立	3	38,499千円	37,032千円
		2実効ある歳入の確保	20	1,103,160千円	1,031,631千円
		3不断の歳出削減と事務事業の重点化	-	-	-
5地方分権・広域行政への対応		1地方分権・広域行政への対応	2	4,776千円	33,973千円
その他		その他	その他	4	4,464千円
行政評価対象事務事業 合計			820	134,436,574千円	13,017,529千円

※事業費は、平成23年度実績です。

※人件費は、常勤・非常勤職員の合計です。ただし、常勤職員については全職員の平均単価で計算しています。

第3章 今後の取組

平成24年度の行政評価は、第二章でも触れているように、より行政評価に注力すべき事業に集中して評価を行うことを目指し、行政評価対象事業の整理と絞り込みを実施し、それら全事業を3か年かけて評価するシステムを新たに導入しました。

また、行政評価結果を効果的に活用するため、平成24年度は、二次評価と外部評価において、見直しを要すると判断された事業については、担当課による事業の見直し案を記載した「改善調書」を作成し、財政課による予算査定時の参考資料として活用しました。

今後は、行政評価の在り方を見直し、行政評価以外の各行政マネジメントツールとの連携強化を図り、以下のとおり更なる効果的な運用を目指します。

行政評価結果を各行政マネジメントツールの基礎資料として活用します

市の管理部門で現在運用している、「行政評価」「人事評価」「組織目標管理」「長期総合計画の進捗管理」「予算要求プロセス」等の各行政マネジメントツールにおいて、各ツール間の連携が上手く取れておらず、また、管理部門からの依頼により、担当課にとって幾重にも同じ様な作業が発生しているという課題があります。その課題を解決するため、各ツール間で重複する基礎情報を、行政評価で作成する事業シートに全て集約し、その情報を各マネジメントツールで相互に活用することで、事務の効率化を図るとともに、行政評価を軸として、各ツール間の関連を明確にし、相乗効果を図ります。具体的には、行政評価によって浮き彫りとなった課題や必要な取組を各マネジメントツールに振分け、各ツールを連携させて問題解決にあたっていくことで、各ツール間の連携強化を図ります。

こうすることで、より一層各所管の見直し、改善意識の醸成につなげていきたいと考えています。

平成24年度
和歌山市行政評価報告書

平成25年3月発行

和歌山市総務公室政策推進部行政経営課
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

水と緑と歴史のまち
気くばり・元気
わかやま市